



夕暮れ空に広がる逆さ富士

富津市は、富士山と夕焼けの隠れた景勝地だと思いませんか？今年9月12日のダイヤモンド富士は、雲がかかり少し残念でしたが、夕暮れ空に富士山の陰が広がる、幻想的で美しい印象に残る夕景でした。



竹岡 「燈籠坂旧道トンネル」
富津市議会事務局撮影

富津 絶景 32

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、欲びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

9月定例会・条例改正等……	2～3 P
決算審査特別委員会報告……	4～5 P
議決結果……	6 P
代表質問……	7～8 P
個人質問……	9～11 P
トピックス、定例会日程……	12 P

9月 定例会

◆ 条 例

▼一般職の任期付職員採用等に関する条例制定

専門的な知識経験等が必要とされる業務、一定の期間内に終了することが見込まれる業務等において、期間を限って必要な人材を任期付職員として採用できるよう、必要な事項を定めるため条例を制定するもので、反対討論がありませんでしたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

▼健全な財政運営に関する条例制定

将来にわたり持続可能な行政経営の実現に向け、市の財政運営に関し、基本理念及び基本となる事

平成29年9月定例会は、8月30日から9月28日までの30日間で開催されました。議案18件、請願1件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

項を定めることにより、財政規律の維持向上を図り、健全な財政運営に資するため条例を制定するもので、全員の賛成で可決しました。

▼職員の再任用に関する条例の一部改正

定年退職等をした職員について、年金の支給が開始されるまでの間の雇用を確保するとともに、当該職員が培った知識・経験を有効活

用できるよう、再任用職員における任用年齢の制限の見直し等を行うため条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼訴訟上の和解

富津岬荘の明渡し等について訴えを提起し、借地借家法に基づく賃貸借契約の終了のため明渡しを求めるとともに、賃料相当損害金の支払いを求めてきたが、裁判所から和解勧告がなされ、和解条項案が示されたこと並びに和解により原告及び被告との間の紛争が早期に解決することを踏まえ、本事件について訴訟上の和解をするため議会の議決を求めるもので、全員の賛成で可決しました。

▼市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正

土地改良法等の一部を改正する法律が施行されること等に伴い、関連する条文の整備等をするため条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部を改正する規約制定に関する協議

千葉県町村会に委託している軽自動車税の賦課徴収に関する申告書の受付事務について、平成30年4月1日から千葉県市町村総合事務組合で共同処理ができるよう議会の議決を求めるもので、全員の賛成で可決しました。

▼税条例等の一部改正

社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律が施行されること等に伴い、法人市民税法人税割の税率の引下げ、軽自動車税環境性能割の創設等を行うため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。



9月13日に開催された総務産業常任委員会



富津岬荘

◆補正予算

▼一般会計

地域介護・福祉空間整備事業、私立保育園運営事業、水産振興事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入を計上するとともに、人事異動に伴う人件費補正をするほか、債務負担行為の補正をするもので、歳入歳出それぞれ1億2163万7千円を追加し、予算総額を169億7772万1千円とするもので、反対討論がありました。



9月14日に開催された教育福祉常任委員会

たが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

▼国民健康保険事業特別会計

平成28年度決算の確定に伴い、歳入では繰越金などを、歳出では国庫負担金返還金、県負担金返還金などを増額するとともに、人事異動に伴う人件費補正をするもので、歳入歳出それぞれ1597万2千円を追加し、予算総額を74億9103万とするもので、全員の賛成で可決しました。

▼後期高齢者医療特別会計

平成28年度決算の確定に伴い、歳入では繰越金などを、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金を増額するとともに、人事異動に伴う人件費補正をするもので、歳入歳出それぞれ153万4千円を追加し、予算総額を5億5253万4千円とするもので、全員の賛成で可決しました。

▼介護保険事業特別会計

平成28年度決算の確定に伴い、歳入では繰越金などを、歳出では介護保険給付費準備基金積立金、国庫負担金返還金などを増額するとともに、人事異動に伴う人件費補正をするもので、歳入歳出それぞれ1億4267万4千円を追加

し、予算総額を50億5667万4千円とするもので、全員の賛成で可決しました。

▼水道事業会計

人事異動に伴う人件費の補正及び拡張工事費の増額に伴う資本的収入及び支出の補正をするもので、全員の賛成で可決しました。



豊岡地先配水管布設工事

◆請願

▼JR内房線の利便性及び安全性向上に関する請願

(提出者…かずさ住民の足を守る会
代表 安田雄二)

※JRは、平成29年10月1日から上総湊駅の「みどりの窓口」を閉鎖、また、現在の6時45分から17

時40分の営業時間を、6時45分から14時00分までに短縮するなど、通学で上総湊駅を利用する生徒に何かあっても対応する職員がいない状況が発生します。今一度、鉄道ネットワークの必要性と公共性のある鉄道会社として、JRの対応について再考願いたいとの請願は、賛成少数により不採択となりました。

※議会だより編集時点で、傍線のような事実はありませんでした。

《反対討論》

議会よりJR東日本に、お願いして欲しいとのことだが、民間企業の自由な経済活動を圧迫することに繋がるので、一方的にお願いすることは反対。ただし市として、JR東日本との意見交換をさらに行なうて頂き、双方にとってウィン・ウインの関係を築いてもらいたい。(猪瀬)

《賛成討論》

JRは民間企業とは言え、公有地をもらい受けて事業を行なっている。また以前、天羽地区の議員と市で改善の要請を行なった経緯がある。よって市民の足を守るため、JRに改善を求めるこの請願を採択したいと考える。(松原)

◆決算審査特別委員会

平成28年度決算審査特別委員会（8人）は、9月20日から21日までの2日間にわたり、現地調査及び一般会計歳入歳出及び特別会計歳入歳出について質疑が行われました。今後の行政運営においてどのような改善がなされるべきか、様々な観点から検証することで事業の評価と次年度予算等へどう反映されるかなどの審査を行いました。質疑の主なものを報告します。

現地調査

- ① 防災情報通信ネットワーク整備事業による防災行政無線中継局
- ② 旧天羽行政センター解体設計業務委託に関連する解体工事



9月20日・21日に開催された決算審査特別委員会



防災行政無線中継局：鹿野山

- ③ 天羽中学校に設置されている避難所自動解錠ボックス
- ④ 鳥獣被害防止総合対策交付金事業による侵入防護柵
- ⑤ 消防団詰所等整備事業による第6分団第1部詰所
- ⑥ 社会資本整備総合交付金事業による市道下飯野線道路改良工事

一般会計歳入歳出決算「歳入について」

市税収入における徴収率が前年対比で向上した要因について、市税滞納者に対する差し押さえ物件について、具体的にどのようなものがあるか、市税の現年分、滞納分の徴収の優先順位について、市たばこ税の減収についての市の考え方、インターネット公売の実績について、金谷海浜公園プール使用料について等。

「歳出について」

●総務費

地方創生加速化交付金事業の経過及び建物等の所有区分並びに補助金の使途について、公共施設再配置関係費の執行状況について等。

●民生費、衛生費

シルバー人材センター運営費補助金の収支について、要援護者地域見守り事業の現状について、天羽養護老人ホームの入所者の減少理由及び市内養護老人ホームの今後の方向性について、地域子育て支援センターの利用者の推移について、一時保育、延長保育、病後児保育の事業推移と今後の事業の方向性について、環境センター管理運営事業の今後について等。



旧天羽行政センター解体工事現場



避難所自動解錠ボックス：天羽中学校

●労働費、農林水産業費、商工費、土木費及び災害復旧費

農作物被害対策事業のうち、有害鳥獣捕獲事業委託料の内訳について、青年就農給付金事業の営農指導の具体的内容について、林道竹岡線の完成年度について、ノリ共同利用施設建設事業の具体的内容について、富津岬荘管理運営費の内訳について等。

●消防費、教育費及び公債費から予備費

公民館管理運営費の節減について、中学校管理運営費のうち修繕料について、要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費の対象者人数と費用の内訳について、図書館関係費における蔵書検索等の充実について、生涯学習バス設置事業におけるバス利用の現状について、等の質疑がなされました。



有害獣侵入防護柵：花香谷

最後に、総体的質疑を行い、健全化判断比率の改善が図られたところある現状の中で今後の市の経営改革に対する考え方について、の質疑がなされ、討論はなく、全員賛成にて認定されました。

国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算

一般被保険者高額療養費給付事業の給付状況について、保健事業実施計画（データヘルス計画）の結果について、特定健康診査を受診しない市民への対応策について、国民健康保険税の軽減措置の対象世帯数について等の質疑がなされ、討論はなく、全員賛成にて認定されました。



消防団第6分団第1部詰所：佐賀

後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算

保険料の滞納者数についての質疑がなされ、討論はなく、全員賛成にて認定されました。

介護保険事業特別会計 歳入歳出決算

介護認定審査会における課題等について、いきいき百歳体操の概要について、保険料の滞納者数及び給付制限者への対応等について等の質疑がなされ、討論はなく、全員賛成にて認定されました。



市道下飯野線：上飯野

水道事業会計決算

配水量分析について、その他、不明水量の詳細について、天羽地域における、給水状況と対応等について、給水原価の詳細について、未収金の内訳について等の質疑がなされ、討論はなく、全員賛成にて認定されました。

温泉供給事業特別会計決算

事業の今後の方向性について、水質検査の結果と今後の対応等について等の質疑がなされ、討論はなく、全員賛成にて認定されました。

▼各会計別決算額

会計名	予算現額	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	177億5039万8千円	170億5326万6千円	162億946万4千円	8億4380万2千円	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	78億4444万8千円	75億2410万9千円	75億1456万1千円	954万8千円
	後期高齢者医療特別会計	5億781万2千円	5億550万9千円	5億130万円	420万9千円
	介護保険事業特別会計	48億653万4千円	47億4258万円	45億9384万9千円	1億4873万1千円
	計	131億5879万4千円	127億7219万8千円	126億971万円	1億6248万8千円
水道事業会計	収益的収支	15億9947万8千円	15億4495万1千円	5452万7千円	
	資本的収支	2億2215万5千円	5億1775万5千円	▲2億9560万円	
温泉供給事業特別会計	収益的収支	95万5千円	209万円	▲113万5千円	
	資本的収支	0円	71万7千円	▲71万7千円	



平成29年9月定例会の 議決結果



※議案18件、請願1件の議決結果は次のとおりでした。

議案等	議決結果	猪瀬浩	諸岡賛陸	三木千明	高木一彦	千倉淳子	山田重雄	平野英男	渡辺務	松原和江	岩本朗	石井志郎	藤川正美	永井庄一郎	鈴木幹雄	福原敏夫	平野明彦議長	
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
健全な財政運営に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
税条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
訴訟上の和解	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度水道事業会計決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度温泉供給事業特別会計決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
J R内房線の利便性及び安全性向上に関する請願	原案不採択	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び、『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

まちの創生

問 一般会計の歳入歳出で生じる決算剰余金の5年間の推移は。

総務部長 歳入歳出総額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、表のとおり。

問 財政調整基金残高の5年間の推移は。

総務部長 表のとおり。

問 市民生活の利便性向上のための道路やインフラ整備に費やす投資的経費の8年間の推移は。

総務部長 表のとおり。

問 行政経営においてはお金は貯め過ぎるのは良くないので還元して頂きたい。そこで2点、道路整備の優先順位と、前倒しできる事業があるのではないかと伺いたい。

建経部長 交通の利便性、安全性を考慮し、重要と思われるものから、国の交付金等を活用し整備を進めている。現在施工中の山王下飯野線、下飯野線、次に小久保岩瀬線、浅間山線、最後に市単独事業と順位付けして実施している。

総務部長 緊急性や事業効果等を勘案し、事業の前倒しも検討して参りたい。

問 この数年来で区長さんから挙がってきた主な要望事項は。

保守の会



平野 英男
議員

建経部長 路面整備、側溝等の排水施設整備、カーブミラーの新設、補修、白線等の路面表示の補修並びに街路樹の伐採や除草等。

問 未対応事項中、予算が確保されれば対応可能なものは。

建経部長 要望事項を精査し、安全・安心と緊急性が高いものを最優先に実施したい。

問 要望事項に対応するための予算増と、控えていた市単独事業に優先順位をつけて実施可能では。

総務部長 平成30年度から5年間で5千万円を新たに見込んでいる。これは地域の要望等、緊急に実施する予算枠として見込んだもの。また市単独事業は通学路等市民の安全・安心に直結し、効果を発揮できる事業を優先している。

	(単位:千円)		
	決算剰余金	財政調整基金	投資的経費
21年度	—	—	1,539,727
22年度	—	—	1,338,569
23年度	—	—	1,234,951
24年度	352,344	401,887	2,718,966
25年度	453,946	201,968	938,796
26年度	612,134	656,351	790,827
27年度	763,798	966,530	930,055
28年度	758,451	1,463,098	1,259,478
現時点	—	1,843,098	—

学校と地域の関わり合い方を問う

保守の会



渡辺 務
議員

問 学校施設の統廃合によって出る廃校後の校舎跡地の利用計画について伺う。

総務部参与 廃校後の校舎跡地の利用は、耐用年数や有効活用の可能性を見極め、ほかの公共施設への転用や複合化などを庁内検討会議で議論していく。

問 地域と学校のあり方について伺う。去る3月議会でも「学校・家庭・地域が連携して取り組む事が必要」との答弁を頂いている。

教育長 コミュニティ・スクールとは学校運営協議会という組織によって運営されている学校である。学校運営協議会は校長の示す学校経営の基本方針を承認したり、運営について教育委員会や校長に対して意見を述べることができるとの権限が与えられている。当市では、そうではなく学校評議員制度を活用し運営方針や取り組みについて情報発信を行い学校運営に反映させている。

問 では、地域と学校の関わり方については、今後も学校評議員の制度を活用していくという答弁でよろしいか。

教育長 学校評議員制度を中心に



新しい中学校を開校すべく、計画が進められている天羽中学校

考えているが、主たる説明責任は保護者に対してあるのだと思う。

問 どんな学校を創るかということについてももう少し深掘りした方がよいのでは。今春、学校統廃合についての地域説明会で多くの保護者や地域の方から、「学校が無くなると地域がすたれる」という意見があった。人口が減少している中で学校を卒業した若者が地元に戻って来ないという傾向に歯止めをかけるには、雇用や子育て支援も当然必要だが、一方で「地域愛や郷土愛を育む教育」の視点も必要なのでは。

教育長 学校の再配置については現存する学校の子供たちの教育環境をいかに良くしていくかという視点から進めている。小規模になってしまっている子供たちの環境を良くするための施策である。

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内であれば、同じ会派の人が
関連質問をすることができます。
*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
健福部長（健康福祉部長）

スポーツ健康都市宣言と 市の防災について

自由民主賢政会



藤原 敏夫
議員

問 スポーツ健康都市宣言をする
考えは。

市長 本市は、各種健（検）診、保健指導の実施や各種スポーツ大会が多く開催されるなど、健康づくりやスポーツが盛んなまちの一つであるとして、認識をしている。健（検）診やスポーツを通じて、市民が健康の意識を高めることにより、健康寿命を延ばし、充実した生活を送ることは、活力あるまちづくりにつながるものと考えます。スポーツ健康都市宣言を行うには、それに伴う市民の期待に応えられるだけの事業の展開や、また、施設の充実が必要であると考えられることから、今後、関係団体などと連携を図りながら、これらの課題を検討してまいりたいと考えています。

問 特定健診の状況は。

健福部長 市独自で実施している18歳から39歳までの市民を対象とした若年健康診査、40歳以上の国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査、75歳以上の後期高齢者被保険者を対象とした後期高齢者健康診査を実施している。また、健康増進法に基づき一定年齢



10月9日に開催された「ふれあいスポーツフェスタ2017」

の市民を対象とした胃がん、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診等、40歳以上で未検査の方を対象としたB型・C型肝炎ウイルス検診及び今年度から新たに成人歯科健診を行っている。

問 防災訓練のあり方について。

総務部長 住民主体の防災訓練は、災害時に市民が自助・共助の行動ができるようにすることが目的である。地域ごとに訓練を実施することで、海岸に近ければ津波避難、山間部ならば土砂災害から沿った、きめ細かい訓練が実施可能になった。

国保事業広域化について

自由民主賢政会



三木 千明
議員

問 平成28年度末における富津市の国民健康保険基金残高は、9億5千万円を超えている。税の公平性の観点などから、基金を取り崩すことに抵抗感もあろうと推察するが、30年4月から国保事業が都道府県単位の運営、広域化に移行される上で、広域化後、標準保険料率が現行富津市の保険料率と比べ高額だった場合、基金取り崩し等で、いわゆる国保税の値下げも視野に検討するとの回答が過去にあったが、国民健康保険基金の活用方法にはどのようなものがあるのか。

健福部長 国民健康保険基金の活用方法としては、納付金の財源が不足する場合は補填、市単独で行う保健事業費及び国庫支出金精算に伴う返還金等が考えられる。

問 国民健康保険基金投入による国保税の引き下げは、根本的な国保税引き下げの解決には繋がらないが、一定額以上積み上がった基金は、有効活用すること、つまりは国民健康保険基金を投入し、期間限定となるが国保税の引き下げを望むものである。一方で、他の保険制度と比較して年齢構成が高

い、医療費水準が高い、所得水準が低いことなどから、財源不足になりやすい等、複雑かつ課題の多い国民健康保険国保税額の引き下げについて、法定外繰り入れや基金の活用以外での解決策をどのように考えるか。

市長 基金の活用以外の解決策としては、特定健康診査、特定保健指導による生活習慣病や重症化の予防、がん検診事業の受診率の向上による、がんの早期発見及び新たに実施しております成人歯科健康診査等により医療費を抑制するなど、市民の皆様の健康長寿を実現することが、国保税の引き下げに繋がる解決策だと考える。



特定健診検査結果説明会の様子

学童保育のあり方について



諸岡 賛隆
議員

問 学童保育の現状は。

市長 平成29年8月現在、合計で6小学校区に、8クラブの学童保育クラブがある。未だ開設のない天羽地区については、4月に社会福祉法人金谷温清会より、天羽地区全域を対象とした学童保育クラブの開設についての相談があり、天神山小学校内で夏休み前には開設の予定だったが、放課後児童支援員の確保が困難となり、開設することができなかった。現在、平成30年4月の開設に向け、準備を進めていると聞いている。

問 富津市小・中学校再配置計画による今後については。

市長 今後は小・中学校再配置計画の進行に合わせて、引き続き当法人により統合先の小学校内で開設できるように、協議していく。

問 放課後児童クラブの定員数もあり、新しい放課後児童クラブの開設が望まれているのが現状だと思ふ。現在の問題点と解決策は。

健福部長 クラブ運営の担い手となる保護者の数も減少しており、放課後児童クラブのない小学校区が複数あることなどから、今後は民設民営方式に加え、市が設置

し、委託や指定管理などで運営を行う方式も選択肢に含め、取り組を進めていく。

問 運営形態については、公設公営という考え方もあるが、今現在、稼働している施設等もあると思ふがどのように考えているのか。

健福部長 現在、県内では、公設公営で学童保育クラブを設置している自治体もあるが、本市では、公設で設置した場合でも、各クラブの自主性を重んじ、それぞれの特色ある保育を大切にしたいという考えから、民間への委託や指定管理などで運営を行う民営方式を基本に検討していきたいと考えている。



学童保育クラブ「さくめキッズ」

少子高齢化対策の1案



藤川 正美
議員

問 高齢化対策としての富津市シルバー人材センターの現状は。

市長 平成元年から富津市社会福祉協議会で「高齢者いきがい事業」として実施。平成28年6月に「一般社団法人富津市シルバー人材センター」が設立され、就業援助・生きがいの充実・社会参加の推進を図り、高齢者の能力を生かした地域づくりに寄与している。

問 以前の事業とシルバー人材センターになったの相違点は。

健福部長 決算面では、平成26・27年度は平均で約57万円の収支不足で、平成28年度は市補助金と国庫補助を受けたが、約32万円の収支不足となった。

問 この事業の充実に向けての考えは。

健福部長 市が今年実施した高齢者福祉介護保険に関するアンケートでは、生きがい就業について情報提供が第1位だった。シルバー人材センターと連携し、市民への情報提供・新規会員の獲得・未就業会員の解消等により、受託収入の増加につながるよう支援したい。

問 市内の発達障がい幼児・児童の人数は。

健福部長 精神保健福祉手帳を所持する18歳未満は8名だが、障がい疑われる人数の掌握は困難。以前は、小学校等で普通クラスの約4%という調査結果があったが、現在は約6%と想定。

問 「かおテレビ」別名「ゲイズファインダー」の機械はご存知か。

健福部長 幼児が、テレビに映るシーンにどう反応しているか、何に関心があるかなど、目線の動きなどを知ることで、幼児の発達を理解し、早期発見につながり、早期療育を効果的に始めることができるかとされている。

問 導入の考えはあるか。

健福部長 他市の効果等を調査・分析し、検討していきたい。



富津市社会福祉協議会・岩瀬事務所内にある「富津市シルバー人材センター」。旧千葉銀・大佐和支店の近く

学童保育・環境問題 水道事業の広域化

問 天羽地区には学童保育がない。どのように開設するのか。

市長 金谷温清会が、天羽地区全域を対象に、天神山小学校内で夏休み前に開設する予定だったが、放課後児童支援員の確保が困難になり出来なかった。平成30年4月開設に向け、準備している。

問 民間まかせでは支援員が集まる保証はない。早く公設公営を決断し支援員の募集をしては如何か。

健福部長 民営方式を基本に検討している。公設民営で不足する場合には、公設公営の検討もしなければならぬ。

問 県内では公設公営で学童保育を運営している市町村は。

健福部長 平成28年5月現在、26市町が実施している。

問 大平興産(株)産廃場からの放流水の検査を市は年4回行っている。ホウ素の除去装置を設置してからホウ素の濃度は放流口では基準値以下になった。しかし、高宕川の下流にきて下がるべき数値が環境基準を上回っている。なぜか。

市民部長 県に対して原因の究明、また調査の要請をしていきたい。

問 塩化物イオン濃度も下がって

公設公営の学童保育を 実施している市町村



県内54市町村のうち26市町
平成28年5月現在

旭市・印西市・柏市・船橋市	我孫子市・いすみ市・大網白里市
勝浦市・香取市・鎌ケ谷市	山武市・匝瑳市・東金市・成田市
習志野市・野田市・南房総市	四街道市・大多喜町・栄町
九十九里町・鋸南町・芝光町	神崎町・多古町・横



松原 和江
議員

いない。県に脱塩装置の設置の要請をしていただきたいが。

市民部長 早急に伝える。

問 パブリックコメントを行ったが、市民の意見は。

水道部長 意見は1件。「大佐和水源の廃止は反対で、他からの水がとれなくなった時のことを考えると、安全対策として稼働継続させるべき。」との意見があった。

問 小櫃川の水が飲めなくなったら、今ある配水池で、市民の何日分の水を供給できるのか。

水道部長 7つの配水池で1.2日分の水道水を確保できる。

問 水道職員は木更津に集中する。市民の要望に即答できるか。

水道部長 サービスの低下なく、即座に対応できるように考えている。

富津市の将来ビジョンについて

問 市内各地域の将来ビジョンの考え方は。

市長 平成29年3月に改訂した富津市都市計画マスタープラン（以下、MPと呼ぶ）において、市内を4つの地域に区分し、市民・企業・行政がみんな進める都市づくりを基本的な考え方として、それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりを目指したいと考える。

問 MPでは、旧富津町、大堀・青木地区、二間塚・山王地区、千種新田・岩瀬・西大和田・小久保地区の4地区を市街地と定めているが、個人的な調査によると大堀・青木地区以外はこの20年間で人口を大きく減少させ、25年後にはさらに人口を減少させることが予測できる。市街地としてどう維持していくつもりか。

建経部長 MPは、各地区のまちづくりの方針を示したものであり、個別の地区の問題に対応した計画等は別途検討していく必要がある。なお家屋、商業施設や商店、商店街の密集を維持するためには、空き家や空き店舗等の有効活用等を検討していく必要があると考える。

問 MPの佐貫・湊地域、南部地



猪瀬 浩
議員

域では、現在小・中学校の再配置計画が進んでいる。学校が廃校になる予定の地域の将来ビジョンは。

総務部長 地域の皆さんが、自分たちの住む地域をどのようにしていきたいかが重要だと考える。今後、市民の皆さんの意見を聞きながら、まちづくりを考えていく。

問 行政は市民とまちづくりに対する意見を共有し、共通の意思を固めた上で、それを実現するための将来ビジョンを作ることが必要であると考える。市長のお考えは。

市長 官民協働というキーワードの中で進めている行政なので、市民の皆様と検討し、それによって市民の皆様が富津市ふるさとへの愛着を深めてもらいたいと考えている。そのために全力を傾注していく。

年齢別(国勢調査・富津市人口ビジョンより)

年齢	1995年	2015年	2040年
0-14	8,184	4,271	2,100
15-64	36,263	25,510	15,200
65-	9,777	15,684	13,400
合計	54,224	45,465	30,700

地区別(国勢調査[2040年は独自分析]より)

地区	1995年	2015年	2040年
富津	22,580	21,916	[17,763]
大佐和	15,968	12,452	[8,473]
天羽	15,676	11,097	[7,222]
合計	54,224	45,465	[33,458]

富津市の将来人口ビジョン

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

健福部長 (健康福祉部長)

建経部長 (建設経済部長)

「職員雇用・観光産業と行政の役割・現在進行中の大型事業進捗状況について」



千倉 淳子
議員

問 富津市の目指す職員像は。

総務部長 富津市職員人材育成基本方針では、『目指すべき職員像を、自己啓発を積重ね、大きく変化対応していく、改革力のある職員』としている。

問 採用試験の際の評価基準は。

総務部長 1つ目に住民満足度を高められる職員、2つ目に仕事の効率を上げられる職員、3つ目にコミュニケーション力のある職員、4つ目にマナー、倫理を守る職員、5つ目に柔軟な発想で行動力のある職員。

問 海水浴場の運営について27年度事業仕分けでの意見に基づいてとのことだが、どのような意見が出たか。

建経部長 「目的が40年変わっていない」どんな効果を狙っているのかわからない」「5つの海水浴場の特徴を生かした改善が必要」など、いずれも特徴的なことを考えた方がいいのではというもの。

問 火葬場移転については、7千以上の署名をつけた陳情があり、納得できない市民も多い中、この事業がスケールメリット効果も薄く、市民にとって利便性や経済的

負担が多い結果となったとき、市民はそれをどこへぶつければ良いのか。

市長 行政の行うことであり、議会の皆様のご理解とご同意、ご協力を頂きながら時の首長が責任をもって進めていると思っております。誰の責任だということに関しては非常に難しい判断ではないかという風に思っています。しかし現段階の中で、進める事業に関しては、私が決定させて頂いている。



萩生の津浜海水浴場

有害鳥獣と資源活用、観光資源と小中学校について



高木 一彦
議員

問 1年経ちニホンザルの個体数、被害状況の変化、現状、対策は。

市長 個体数は把握できていない。被害額は増加傾向で、今後の対策は、県の調査結果を参考に、被害対策や適正管理を実施する。

問 はぐれザルによる被害とアカゲザルDNA鑑定の結果は。

建経部長 はぐれザルの頭数、被害状況は把握できていない。高宕山自然動物園内のアカゲザルDNA鑑定の結果、57頭が処分された。県の防止計画策定に伴い引き続き捕獲を実施する。

問 本年4月に施行された森林法改正に伴う富津市の取り組みは。

市長 森林法の改正を受け、富津市森林整備計画を変更した。

問 森林整備計画の変更点と森林資源、水資源活用の今後は。

建経部長 主な変更内容は、鳥獣害の防止方法等の追記。市有施設等における地域産材の利用も促進していく。飲用できる湧水全ては把握していないが、水室山を水源とする「銘水滴の不動尊」等がある。

問 東京オリピック・パラリンピックに向けて取組状況は。

総務部長 キャンプ地誘致は、津地域4市で連携して取り組んでいる。

問 小中学校に関する進捗状況は。

教育長 関係する学校群ごとに検討協議会にて協議を進め、天羽中学校校舎改築検討委員会においては、「みんなであつくり上げる学校」を基本理念に協議をしている。

問 木造校舎の検討及び小中学校に関する協議事項の詳細は。

教育部長 校舎の構造は、長所、短所を総合的に検証し検討する。協議事項は統合を見据えた交流授業、スクールバス、道路整備等、多岐にわたるので、慎重に協議していく。



名水百選「滝の不動尊」市内の豊富な湧水も貴重な資源として活用できるのか！



8月17日に学童保育クラブ「さぬキッズ」の、児童・指導員22名が議事堂見学に訪れました。地元佐貫の石井議員が市議会の仕組みを説明しました。



10月3日に教育福祉常任委員会協議会が市内視察(天羽中・湊小・三柱神社)を実施し、湊小学校(今井常夫校長)では、授業を参観し給食を試食しました。



10月7日に当市の友好都市山梨県甲州市で「第64回甲州市かつぬまぶどうまつり」が開催され、正副議長、両常任委員長がお祝いに伺いました。



10月16日に千葉市で「第186回千葉県市議会議長会定例総会」が開催され、当市が提出した議案について岩本副議長が趣旨説明を行いました。

議会講演会のお知らせ

演 題 —これからの地域と学校のありかたについて—
 日 時 11月25日(土) 14:00~15:30
 場 所 富津市役所 1階 大会議室
 定 員 200人程度(当日先着順)
 講 師 工学博士 柳澤 要 氏(千葉大学 大学院工学研究科 教授)

市民のみなさんにも公開いたしますので、是非ご参加ください。

ぜひ、議会傍聴に!

12月定例会日程

11月29日(水)	10時	開会
12月6日(水)	9時30分	議案の上程
7日(木)	9時30分	一般質問
8日(金)	10時	一般質問
11日(月)		議案質疑
13日(水)		予備日
14日(木)		常任委員会
20日(水)	10時	委員長報告 議案審議

12月6日の午前9時から議場コンサートを予定しております。

出演は環小学校児童の皆さんです。

※日程は変更になることがありますので、議会事務局(80・1331)へお問い合わせください。

【編集後記】

9月定例会では、市長からの一般会計及び特別会計の決算書が議会の認定をうけるため、議案が提出されました。議会では決算特別委員会を設置して平成28年度の決算の執行状況について審査を行いました。

元氣な富津市を取り戻すため、色々な取り組みを行って参りました。少しずつですが前に進んでおります。今回の決算の中でも財政調整基金の積み増しなど、財政の安定的な状態になって参りました。

来年度の予算編成は、本年度より更に改革を推し進める予算編成になることを期待しています。(もろおか)